

第1回 「加古川くすのき苑」 共同生活援助 地域連携推進会議 議事録

会議名	第1回 「加古川くすのき苑」 共同生活援助 地域連携推進会議
日時	令和7年5月27日（火） 13時 30分 ～ 14時 30分
場所	グループホーム 加古川くすのき苑
参加者	地域の関係者2名、入居者1名、入居者家族1名、事業所職員3名
内容	<p>1. 会議の目的説明 事業所職員より会議の趣旨、目的を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 入居者と地域との関係づくり ◆ 地域の方へ施設や入居者に関する理解を深める ◆ 障害サービスの透明性と質の確保 ◆ 入居者の権利擁護 <p>2. 今回の見学及び会議次第 「くすのき苑」の施設見学 事業所職員より説明。 1階の共有スペース、2, 3階の自室スペースの説明、日常生活や服薬管理も利用者本人がしていることを説明する。</p> <p>施設見学の感想</p> <p>地域の関係者 「元々寮だったこともあって造りもしっかりしている。」 地域の関係者 「認知症グループホームと違って自活や服薬管理を自分でやっていることに驚いた。自活ができるなら一人暮らしでもいいのでは。」 事業所職員 「一人で住むのが不安な人がグループホームにおられます。」 入居者家族 「職員などは？」 事業所職員 「24時間で必ず一人職員がおり世話人が5人ほど訪問に来ている。東加古川病院の訪問看護が週に1回ほどくる。」</p> <p>病院やグループホームの沿革 事業所職員より説明。 昭和12年に病院ができ昭和41年に法人化し今年で88周年になる。 グループホームは平成7年にでき最初は一軒家で4つの場所があった。 その後1つの場所を立ち退かないといけなくなり、平成27年11月から今の場所へ。</p> <p>精神障害・日常生活を説明</p> <p>入居者 「グループホームは住み始めて10年以上で作業所に週5日通っている。グループホームに帰り、お風呂が空いていれば入り、自室でテレビを見ている。」 事業所職員 「食事や薬はどうしていますか」 入居者 「食事は月～金はお弁当を食べていて、土日は他の利用者と一緒に自炊している。薬はたまに忘れるがきちんと飲んでる。」 事業所職員 「なんで一人暮らしではなくグループホームに住んでいますか？」 入居者 「一人で生活するのが不安だから。」</p>

	<p>地域行事への参加</p> <p>地域の関係者 「コロナ以降行事を開催するのが難しく、高齢者が多くなり参加人数も例年少なくなっている。去年から夏の集いというものを開催している。他にも池の周りや公園の掃除などを行っている。5月に一度行っていて次が7月になる」</p> <p>事業所職員 「参加は可能ですか？」</p> <p>地域の関係者 「参加は可能です。」</p> <p>要望・苦情</p> <p>事業所職員 「地域の人たちからグループホームの話や苦情は出ていますか？」</p> <p>地域の関係者 「特にそのような話はありません。」</p> <p>入居者家族 「食事提供があれば、入居者の負担軽減になる。すぐにではなく、ゆくゆく検討されてみてはどうか」</p>
<p>決定事項</p>	<p>次回開催予定 令和8年5月ごろ開催予定</p>
<p>指示事項</p>	